



2023年度 年主題くともにつむぎだす～希望の中で～

0・1・2歳児3月主題「おおきくなったね」
月のねがい
◎神さま、イエス様を大好きと感じる(0)◎戸外に出て春の訪れを感じる(0)
◎生活のリズムができあがり、安心して過ごすうち心も満たされる(0)◎いつも神さまと一緒にいて下さることを感じ、感謝する(1.2)◎日々を喜び、安心して過ごし進級することを楽しみに待つ(1.2)◎自分でできることが増え、友だちとの関係を楽しみながら心身共に元気に過ごす(1.2)

3・4・5歳児3月主題「神さまありがとう」
月のねがい
◎神さまに守られて大きくなったことを喜び、感謝する◎友だちと思いを伝え合うことを喜び、互いの思いやその子らしさを受け止め合って過ごす◎心満たされる日々を経験し、4月からの新しい生活を待ち望む◎共にいて下さった神さまが、これからも導いて下さることを信じ、希望を持つ◎育まれた信頼関係を土台に、安心して4月からの生活に歩み出していく



ずーと、ずーと ともだちだよ!

だんだん暖かくなり、お庭には菜の花や桜など咲き始めました。毎日のように黄色い花を摘んで握りしめ、「きれい!」、「ママにあげるの」と女の子。鉢をひっくり返して、そろそろダンゴムシが目覚まして出てこないかと土と睨めっこの男の子。少しずつ春の訪れを待ち望んでいる子どもたちです。

園庭や体育館では、年中長児は縄跳びブームです。始めはほとんど跳べなかった子どもも、今では「見ててね!」と20回も跳べるようになってきてびっくりでした。マイ縄跳びを手に、引っかかっても何度も挑戦している姿がかっこいいです。そんなお兄ちゃん、お姉ちゃんを真似て2歳児も縄跳びを持って、回してジャンプ!“跳んでいる風”を楽しんでいます。(笑)

卒園式の歌やお言葉の練習が始まり、年長児と遊べるのもあと少しだと実感が湧いてきました。今まで行事のたびに、みんなを引っ張ってきた年長児。遊ぶ時も「いっしょに入る?」と声をかけ、優しく手を引いている姿は、みんなの憧れです。いつもありがとう。めいろうこども園とさよならしても、ずっとずっと友だちだよ! 年長児はもうすぐ一年生! 期待はもちろん不安や心配もあることでしょう。親子で通学路を歩いてみたり、学用品を一緒に準備をしたり、早起きの生活リズムを整えたりと少しずつ心と体の準備もできるといいですね。

3月は嘔吐下痢や感染症も落ち着き、健康に過ごせますように! そして進級や進学を期待し、さらに楽しい思い出ができたと思います。あと残りわずかですが、よろしくお願いします。 大河



今月の聖句「いつまでも残るのは信仰と希望と愛、これら3つです。」

1コリ13:13

2023年度も一ヶ月を残すのみとなりました。この一年で、きっと子どもたちは心身共に大きく成長したことでしょう。子どもたちにとって、園は社会性を学ぶ場です。自分の思うようにいかなかったり、かんしゃを起したり、悔し泣きすることもあるでしょうが、その一つひとつの経験が、成長させてくれるきっかけになります。

今月の聖句は聖書の中でもよく知られている有名な御言葉です。信仰、希望、愛の三つが残るが、その中で愛は最後まで、つまり永遠に残る、と語っています。愛と言っても、様々なものがあります。純愛、敬愛、信愛、割愛、溺愛、偏愛…。その意味合いはみな違います。私たちの愛は、決して完全なものではありません。愛に夢中になっている時、その愛に酔いしれている時には、こんな素晴らしい愛はないと感じる。けれども、時間と共に冷めてしまったり、それが大いなる錯覚であることに気付くことがあるかもしれません。その気付きによって、愛の質が変えられ、成長することに繋がります。幼子には自分を可愛がって欲しいという利己愛が中心かもしれませんが、経験を通して辛抱することを覚える愛、控えることも出来る愛を身につけていきます。

そのような経験が子どもたちに豊かに与えられるように、その子どもたちを見守る保育者の先生方が心豊かに接することができるように、そして、それぞれの家族がどんな時にも迷いの場であることを願って止みません。 協力牧師 池田基宣

3月の行事予定

4日(月)	3月誕生会
5日(火)	役員会、監査
6日(水)	※弁当日
9日(土)	卒園式
12日(火)	お別れ会・給食ハイク
18日(月)	修了式(午前保育)
29(金), 30(土)	年度末休業日

4月の行事予定

9日(火)	始園式
13日(土)	入園式
	クラス会(親子で降園)
20日(土)	役員会
27日(土)	親子遠足(※弁当日)
	父母の会予算総会
	雨天時: 市民体育館

※4月は変更及び中止になる場合がありますのでご了承下さい。

退職者のお知らせ

本年度をもちまして、たんぼぼ組担任の大脇春美保育教諭が退職いたします。皆様には長い間大変お世話になり、ありがとうございました。

星とたんぼぼ

金子みすゞ

青いお空のそこぶかく、
海の小石のそのように、
夜がくるまでしずんでる、
星のお星はめにみえぬ。
見えぬけれどもあるんだよ、
見えぬけれどもあるんだよ。

ちってすがれたたんぼぼの、
かわらのすきにだアまって、
春のくるまでかくれてる、
つよいその根はめにみえぬ。
見えぬけれどもあるんだよ、
見えぬけれどもあるんだよ。



ひかりの子どもらしく 旅立ちの春

寒暖を繰り返しながら、一雨ごとに暖かみを増してきました。春の訪れを私たちに感じさせてくれるのは太陽の光です。日ごとに日差しが強くなり、春らしくなってきました。厳しい寒さの後には、春の光のありがたさをつくづく感じさせられます。子どもたちはいち早く体で春の訪れを感じ取っているようです。室内にいるよりも光の降り注ぐ園庭で存分に遊びたい気持ちが溢れてくるようです。

『ひかりの子どもらしくあゆみなさい』。子どもたちの「卒園の歌」の歌声が聞こえ始めると、この聖句を卒園生に贈る聖書に書き込んでいきます。一人一人の顔を思い浮かべながら筆を運ぶこの時間は、まさに至福の時です。全職員が人格を形成する大切な乳幼児期に、個々の育ちの過程にしっかりと寄り添えることができたのか。自己肯定感が育まれるような言葉掛けができたのか。発達に最も大切な「あそび」が自由に探求できる環境が整えられたのか…。静かに内省する時でもあります。しかし、何よりも集団生活の中で、活動や行事を友だちと共に経験する機会をたくさん備えることができたことは感謝でした。

聖書では光の反対の闇のことを「罪」と呼んでいます。法や倫理に反する「犯罪」としての罪ではなく、生まれながらに持っている憎しみ、猜疑心、ねたみ、攻撃心等です。神に背を向けて生きることを神の意志に逆らって生きることを、自分中心に生きることも言えます。昨今のSNSにおける他者への攻撃や誹謗中傷を知るに、人間はいかに罪深い存在であるかに気づかされます。この闇は目に見える世界というよりも、魂の中の闇と言えらるるのではないのでしょうか。魂の奥底にある闇が、人間の世界を悲劇的なものにしてしまっています。しかし、光の源であるイエス・キリストによって、愛と希望に生きるものとして変えてくださったことを信じております。光は明るく、温かく私たちに照らし、希望を与え、愛の心を育ててくれます。本園では、すべての園児たちがキリストの光に照らされ、愛と希望に包まれて「神様の子」として成長するようにと願い、祈りつつ保育を行ってきました。これからも神様に愛され守られて、心身ともに成長していくことを願っています。

多様化する時代にあっても、一番大切なものは、いつも目に見えないのだということをお忘れずにいてほしいです。金子みすゞの詩にあるように、星の星やたんぼぼの根のごとく、見えないけれど確かに在る神さまの大きな愛と人々の愛に満たされ、心優しいひかりの子として歩むことが出来ますように祈っております。この一年間、保護者の方々には色々な面でご支援ご協力を戴き、誠にありがとうございました。多くの足らざるところをお詫言びし、心より感謝申し上げます。

園長

聖書の贈りもの

3月は年長児が卒園式を迎えます。毎年こども園では卒園記念に聖書が送られます。聖書には、小さな字がずらりと並んでいます。聖書はとても長くて、難しいところもあるので、大人でも全部読めない人もいます。読んでも、なんのことかわからないところもあります。でも、少しずつ読んでいくうちに、大切な言葉や大好きな言葉が見つかるのです。

聖書には3つの大切なことが書いてあります。

ひとつ目は『ありがとう』
神さま、こんなに素晴らしい世界を作ってください、ありがとうございます。家族や友だちがいて、ありがとうございます。たくさん遊んで、美味しいものを食べられて、ありがとうございます。イエスさまが、私たちを助けてくれ頑張る力をくださって、ありがとうございます。

2つ目は、「ごめんなさい」
神さまが大事なことを教えて下さっているのに、わからんちんな時があつてごめんなさい。ワガママや暴れん坊さんになっちゃってごめんなさい。

3つ目は「だいじょうぶ」
神さまがいつも見ていて下さるから、だいじょうぶ。家族や先生やお友だちがいるから、だいじょうぶ。失敗をしたり、

間違ってもだいじょうぶ。お祈りをすると、だいじょうぶという気持ちが心の中で大きくなります。

「ありがとう」が、心を豊かにし、
「ごめんなさい」が、かたくなになった心を柔らかくし、
「だいじょうぶ」が、心の底からなる力となるのです。



ひとりひとは、みんな、神さまに素晴らしい宝物をいただいています。これから先の新しい世界でも、その宝物がますます輝いていきますようにと、お祈りしています。また、がんばるころも、助け合うころも、信じるころも与えられている子どもたちです。新しい世界で、希望の光を絶やすことなく、大きく大きく成長していくことができるよう祈っております。ご卒業、おめでとうございます。

副園長